

山家城

Yamagajyo

やまがじょう こうがみねじょう
山家城(甲ヶ峯城)

この城は、由良川本流と上林川の合流する綾部市の山家地区にある標高236mの甲ヶ峯山頂に築かれた山城です。戦国時代には、和久左衛門佐が居城にしたと伝わっています。

地元では「**甲ヶ峯城**」と呼ばれ、親しまれています。

現在、この山家城(甲ヶ峯城)跡には、山家城址公園近くの伊也神社から登ることができます。参道や案内板が整備されているほか、土塁や空堀が当時のまま残っています。



空堀

山家城(甲ヶ峯城)は城か!?寺か!?

明智光秀の丹波攻略の際、光秀軍は福知山を平定すると山家に進撃してきました。和久左衛門佐も降伏しましたが、山家城(甲ヶ峯城)を破却するとの条件で許されたようです。

しかし、城内には「照福寺」というお寺があったことから、「城ではない、寺である」と称して城郭を取り払わなかったため、天正8年(1580年)6月20日、光秀軍により攻め落とされました。

このとき、左衛門佐はいずれともなく逃れたため、光秀は和久氏を探し出して捕らえようと、和知の豪族出野左衛門助と片山兵内にその旨を命じています。



出野・片山氏宛の明智光秀自筆書状(御霊神社 所蔵/福知山市教育委員会 提供)



登り口

＼照福寺／

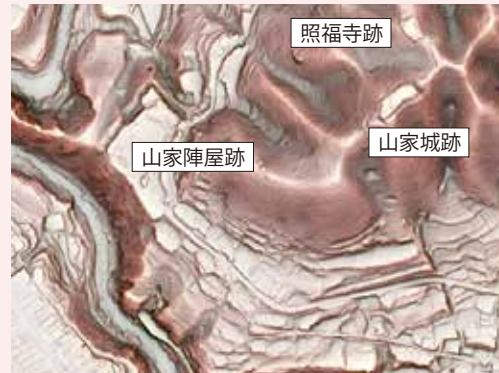
照福寺は、室町時代の文安2年(1445年)、山家城主 和久氏の菩提寺として創建されたと伝えられており、当初は和久氏の居城、山家城(甲ヶ峯城)の出郭にありました。しかし、光秀軍に討伐されたため、照福寺は東山町に移りました。その後、江戸時代初期の寛文2年(1662年)、山家藩主 谷衛廣(もりひろ)が庇護し、現在地に境内を移しています。

照福寺には、「含勝庭」「生々苑」「真観庭」の3種類の庭園があり、中でも天保14年(1843年)に作庭された「含勝庭」は、年代が明確で江戸時代後期の枯山水庭園の遺構として大変貴重なことから、昭和45年(1970年)国の名勝に指定されています。

住所:綾部市鷹栖町小丸山33
電話:0773-46-0185
拝観料:500円(事前予約が必要)



庭園



山家城址周辺の航空レーザー測量図

やまがじんや 山家陣屋

本能寺の変の直後、天正10年(1582年)羽柴秀吉(のちの豊田秀吉)により1万6千石をもって美濃国から山家藩主に封ぜられた谷衛友(もりとも)が、光秀による丹波攻めで落城した山家城(甲ヶ峯城)のふもとに築いたのが山家陣屋です。

明治維新まで谷氏が13代にわたり統治の本拠としましたが、明治3年(1870年)に御殿など建物の大半を焼失し、明治6年(1873年)の廃城令で終焉を迎えました。



城主の祖霊を祀る谷霊神社

谷の空鉄砲 細川家との絆

慶長5年(1600年)関ヶ原の合戦の際、西軍についた谷家は、東軍につき田辺城(舞鶴市)に籠城した細川幽斎の包囲に加わりました。しかし、歌道を通じて両家が友好関係であったことから、出陣した谷軍の鉄砲隊はすべて空砲であったという「谷の空鉄砲」の逸話が残っています。

東軍が勝利した関ヶ原の合戦でしたが、細川家のとりなしもあり、谷氏は藩を存続できたといえます。

＼細川幽斎(藤孝)という人／

明智光秀の盟友で同時期に將軍家に仕え、ともに信長の命で丹波・丹後を平定し、丹後国を治めました。光秀の娘・ガラシャ(玉)と幽斎の嫡男・忠興が結婚し、親戚にもなり近い二人でしたが、「本能寺の変」では細川家を守るため光秀からの誘いを拒絶して出家しました。幽斎は、歌道の奥義「古今伝授」の相伝者でもあり、さまざまな芸能や故実にも造詣が深く、当代一流の文化人としても名高い人物で、山家陣屋を築いた谷衛友の歌道の師匠でもありました。

山家陣屋の今

現在は、山家城址公園として整備され、梅や桜、紅葉など四季折々の自然が美しく、「京都の自然200選」にも選ばれています。

山門の位置に模擬復元された城門の2階は「山家資料館」として様々な歴史資料が展示されています。



山家城址公園

住所:綾部市広瀬町上ノ町76

電話:0773-46-0345(山家公民館)

※山家資料館の見学は事前予約が必要(入館無料)

＼谷家の家紋／

初代藩主 谷衛友の父 衛好は、織田信長に仕え、天正4年(1576年)大坂本願寺攻めに軍功をあげ、感状と「揚羽蝶」の家紋を賜ったと伝えられています。しかし、天正7年(1579年)播州三木城の別所長治を攻め、衛好は討死。ともに戦った衛友は、敵を打ち取り、衛好の亡き骸を奪い返して三木の如意金剛寺に祀りました。このことに対し、秀吉から感状とともに加増と「五三の桐」を賜ったとも伝えられており、現在、山家城址公園内には、こうした史実を留める「揚羽蝶」と「五三の桐」の紋が刻まれた灯籠などがあります。



山家陣屋の石垣・井戸

令和元年9～10月に綾部市教育委員会が行った発掘調査では、江戸時代に築いたとみられる石垣や、井戸の周りで水はけをよくする石組みを発見。明治初年頃までの陣屋の遺構がそのまま残っているのは貴重です。



山家 観光案内



綾部市、東部への入り口。JR山陰本線「山家駅」、京都縦貫自動車道「京丹波わちIC」からすぐとアクセスも便利です。



おとみけいりゅうそう
乙味溪流荘

釣った魚をその場で調理してもらって味わうこともできます。竿の貸出や餌の販売もあるので、初心者でも安心です。
住所:綾部市釜輪町奥山口30
電話:0773-45-1950

魚釣りの体験



やまがハッピーアイランドin綾部

自然豊かな空間で、ゆったりとした時間を楽しめます。釣り池やドッグランもあります。
住所:綾部市東山町井坪谷14-1
電話:0773-46-0889
URL:https://ayabe-happy.com/

キャンプBBQ



山家ふれあいの駅

地元の野菜や特産品が並び、カフェでは地元食材を使ったメニューがそろうなど山家の魅力がいっぱい詰まった場所です。
住所:綾部市上原町戸尻8-5(UR山家駅横)
電話:0773-21-5529



たちいわ 立岩

由良川のほとりにそびえ立つ高さ約20m、周囲40mの巨大な岩。京都の自然200選のひとつ。



かんばら 上原橋

国道27号沿い、由良川にかかる幅約2.4mの古いつり橋。

※営業時間、定休日等詳細は、各施設にお問い合わせください。